

1 平成30年度政策財政運営の基本方針

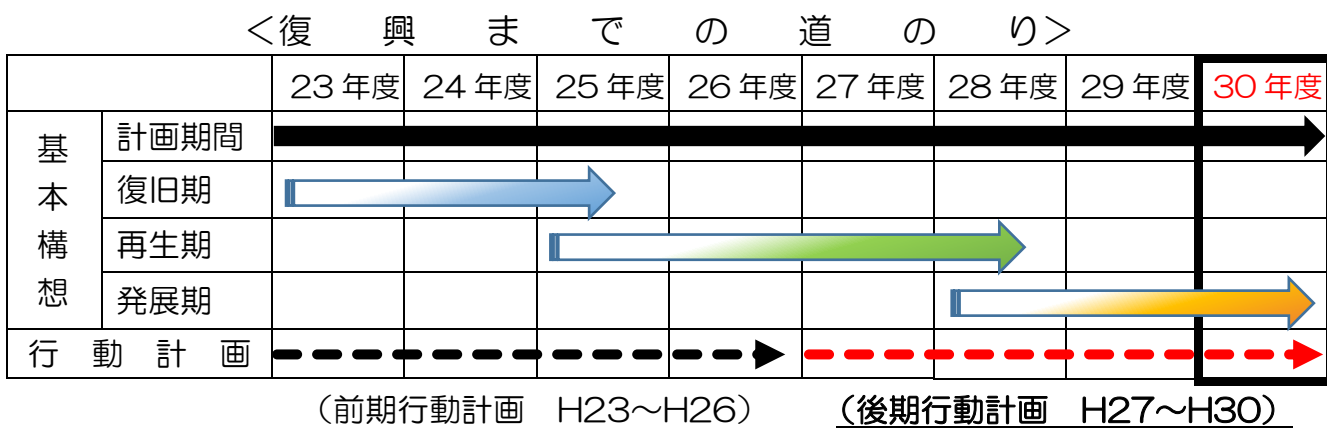
● はじめに

I 政策展開の方向性

東日本大震災から6年と半年余が経過しますが、我が町は、「チーム山元・心をつなぐ」に、子々孫々に誇れる「新生やまもと」の実現を目指し、安全・安心を最優先とした創造的復興に向け、果敢に挑戦を続けてきました。

これまでの「創造的復興」の取り組みにより、町には、新しい街、新しい公共施設、新しい道路や鉄路等が次々と整備され、復興は着実に歩みを進めています。

平成30年度は、「山元町震災復興計画」（以下「震災復興計画」という）の最終年次を迎えることから、計画に掲げた各種施策の総仕上げに全力で取り組み、「キラリやまもと！ みんなの希望と笑顔が輝くまち」の実現を図ります。

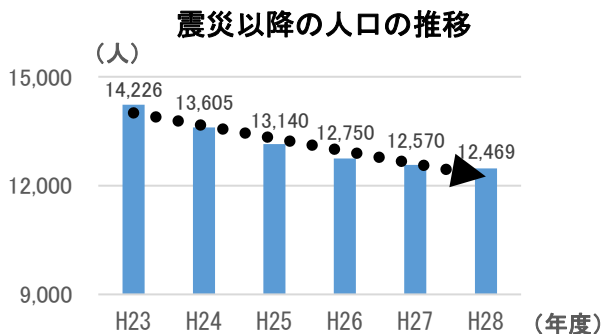


- ### 5つの重点プロジェクト

 - (1) 住まいる(スマイル)プロジェクト
 - (2) 山元ブランド再生プロジェクト
 - (3) 人口減少・少子高齢対策プロジェクト
 - (4) 笑顔が集う、にぎわい創出プロジェクト
 - (5) 防災力向上プロジェクト

平成30年度においては、「復興・創生」に向けた施策を着実に進めるため、『震災復興計画』に基づく各種事業に最優先事項として注力するとともに、町の喫緊の課題である、人口減少問題に重点的に取り組むため、『山元町地方創生総合戦略』や、今年度策定した『山元町過疎地域自立促進計画』に掲げた施策について、成果を検証しながら、更なる充実に努めます。

また、限りある財源の中ではありますが、今年度実施した町民懇談会等で、行政区や町民の皆様方から頂いた様々な要望や、新たに顕在化した課題の解決に努め、より暮らしやすいまちづくりを、引き続き推進していきます。



II 財政運営の方向性

平成30年度の予算編成に当たっては、「震災復興計画」の最終年次を迎えることから、これまで取り組んできた復興事業を改めて点検するとともに、計画に掲げた各種施策の総仕上げに着実に取り組み、復興・創生後の町づくりも見据えながら、優先順位付けの徹底、新たな歳入確保策の検討など、様々な方策を検討することにより、将来にわたり持続可能な財政運営に配慮した予算編成に努めます。

1 事業の優先順位付けを徹底

政策目標を明確なものとするため、中期財政見通しを参考にしながら、人口減少を見据えた公共施設のあり方や事務事業の見直しなどを徹底的に行い、事業効果や効率性の向上を図り、緊急性等が低いと判断した事業については、年次計画の見直しや、廃止・縮減等、スクラップを徹底することにより、各部署において特に優先的に取り組むこととした事業の財源を捻出します。

2 新たな歳入確保策の検討

産業振興や定住化促進といった人口減少問題対策事業をはじめ、雇用の拡大や町民所得の向上など税収の増加につながる各種事業を展開するとともに、町税等の収納率向上対策に努め、ふるさと納税制度や有料広告に続く新たな収入確保策について鋭意検討します。

また、過疎法に基づく各種支援制度についても、積極的に活用を検討します。

3 民間活力導入の検討

上下水道事業の「包括的民間委託」をはじめ、復興公営住宅の包括管理業務やシルバー人材センターの活用等、民間活力の導入を今後とも積極的に検討します。

4 持続可能な財政運営の確保

人口減少、少子高齢化の影響等、本町の財政状況を十分に理解し、単に近隣市町村や同規模類似団体における取り組みに合わせることなく、将来の財政運営に過度な負担を強いることが無いよう、事業の見直しや縮減に努めるとともに、公共料金等については、現行料金とコストとの比較検証に取り組むとともに、今後、消費税率等の改定が実施されること等も踏まえ、料金への適正な転嫁も検討します。